

弊社考案マシン稼働中
22年度実績18.1t/年

ライター処理

安全・適正・スピーディー!!

処理費

◆金属製ライター・使い捨てライター = 120円/kg

◆点火棒(チャッカマン等) = 160円/kg



受入条件

- 産廃処理委託契約を取り交わした上で、マニフェスト伝票を必ずご使用願います。
- 少量・多量問いません。
- 弊社工場までお客様による自己搬入を希望します。
(搬入先:江東区新木場)
(弊社車両による収集運搬を希望される場合は別途運搬費がかかります。)
- 搬入時に使用していただくセキュリティボックス(容積:37.4ℓ)をご用意しております。ご希望の場合は、無償貸出いたします。



100円ライター回収困った

来年9月に安全基準導入



消費者庁 コストかさみ断念
自治体 収集車の火災懸念

日本経済新聞によると、100円ライターは、現在、全国で約1億個が消費されている。しかし、このライターは、コストがかさみ、自治体の収集車の火災懸念を招いている。来年9月に安全基準が導入される。これは、ライターに安全機構を義務付けること。これにより、ライターが勝手に着火するのを防ぐことが期待されている。また、コスト削減のため、一部のライターは、プラスチック製の部品を削減し、軽量化を図ることが求められる。これは、収集車の積載量を減らし、燃費を改善するための措置である。消費者庁は、この安全基準の導入を、消費者の安全確保と、自治体の負担軽減の両面から推進している。自治体側からは、収集車の火災懸念を解消し、収集作業の効率化を図ることが期待されている。また、コスト削減により、ライターの価格が安くなることで、消費者の利便性も向上すると見られている。しかし、コスト削減による品質低下や、安全機構の信頼性の確保など、課題も残っている。今後の取り組みが注目される。

《ライター処理フロー》

- 金属部分⇒マテリアルリサイクル
- プラスチック部分⇒サーマルリサイクル(ガス化溶融・発電)